

(様式2)

資料No. 1

戸塚区連合町内会自治会連絡会2月定例会 議 題 説 明 書

神奈川県横浜川崎治水事務所

議題名：二級河川柏尾川における新規遊水地整備について

【内容】

神奈川県横浜川崎治水事務所所管の二級河川柏尾川におきまして、新たに遊水地を建設するにあたり、地区連合町内会長の皆様に別添資料により情報提供いたします。
なお、当該遊水地の詳細な計画につきましては、今後検討していく予定です。

【例年あげている議題か？】

今回初めての議題です。

【何をすればいいのか？】【いつから(いつまでに)すればいいのか？】

情報提供しますので、ご承知おきください。

【その他、注意することなど】

問合せ先

担当部署 神奈川県横浜川崎治水事務所

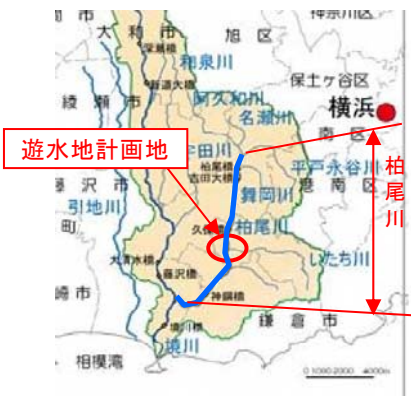
担当者名 河川第二課 大塚 近藤 佐藤

TEL. 045-411-2517 FAX. 045-411-2602

二級河川柏尾川における新規遊水地整備について

■ 柏尾川の概要

- ◆ 柏尾川は、境川水系境川の支川で、横浜市戸塚区柏尾町から藤沢市川名一丁目で境川に合流する、流域面積約 84km²、流路延長約 11km の二級河川です。
- ◆ 流域は工場や宅地が数多く立ち並ぶ都市河川である一方、川沿いは「柏尾川プロムナード」として桜並木の遊歩道が作られているなど、市民の憩いの場となっています。また、絶滅危惧種である『ミズキンバイ』が確認されており環境上も重要な河川となっています。

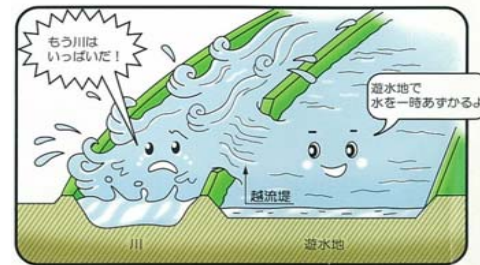


■ 柏尾川の治水計画と整備状況

- ◆ 柏尾川は、昭和 56 年度から進めてきた河道と金井遊水地の整備により、平成 20 年度に時間雨量 50mm の洪水を安全に流下できる河川整備が完了しています。
- ◆ しかし、平成 16 年の台風 22 号や平成 26 年の台風 18 号による浸水被害や都市化の進展を踏まえ、さらに治水安全度を向上させるため、時間雨量概ね 60mm に対応した遊水地整備を進めています。
- ◆ 柏尾川の遊水地は、現在運用している金井遊水地の拡大と豊田高校跡地等を対象に容量を増大させ、河道を流れる洪水流量の 140m³/s 程度をカットする計画となっております。

■ 遊水地の概要

- ◆ 遊水地は、洪水時に流水の一部を一時的に貯留して下流側の流量を小さくすることを目的に作られた施設です。
- ◆ 遊水地の周囲に堤防を造ったり、掘削するなどして、所定の容量を確保できる器を作ります。
- ◆ 洪水調節は、河川と遊水地を分けている堤防の一部に越流堤という切欠きを設けて、川に流しきれない水を遊水地に流し込んで行います。
- ◆ 遊水地に貯留した水は、洪水が終了した後に排水施設を通じて河道へ戻されます。



■ (仮称) 金井第二遊水地の進捗状況

- ◆ (仮称) 金井第二遊水地は、時間雨量概ね 60mm に対応するために、現在運用している金井遊水地を拡大する計画としており、住友電気工業株式会社にご協力いただき、平成 27 年度に横浜工場敷地の一部を取得しました。
- ◆ さらに用地取得を進めるため、住友電気工業株式会社と交渉を重ね、令和 2 年 9 月に住友電気工業株式会社と神奈川県との間で「(仮称) 金井第二遊水地建設事業の用地取得等に関する基本協定」を締結しました。
- ◆ 今後、新たな遊水地の整備に向けて用地買収を進めるほか、上部利用や柏尾川プロムナードについて、地元や関係機関と調整を進める予定です。

■ 遊水地の計画図

